

ワクチン接種に関する観光産業からの緊急アピール

～ワクチン接種の進展に伴う社会経済活動の正常化に向けて～

ワクチンの接種は、発症や重症化を防ぐのみならず、諸外国の例から感染予防にも高い効果があることが明らかになってきた。正にワクチンは長い新型コロナウイルス感染症との闘いの先に見える光明である。政府、地方自治体、医療関係者等のご尽力により接種が加速し、先日には菅総理大臣から10月～11月頃には希望する人全員に接種を終えるとの方向が示され、観光産業として深く感謝申し上げる次第である。

加速化されたワクチン接種により、人々の安心した生活を取り戻すため、国内並びに海外との交流の正常化に向けて、観光関係者は一丸となって取り組んでいく。

1. 1日でも早く、一人でも多く接種できるように

地方自治体、医療関係者等との緊密な連携により接種会場の運営や予約受付業務、地域のホテル・旅館による会場提供、接種会場までのバス等による輸送など、各地において観光関係者は早期接種に向け協力して臨んでいるところである。

また、職域接種においても産業医を擁する大企業では、接客職など感染リスクの高い職種から始めるなど効果的に進めていく。中小企業においても地域で他産業と連携し、積極的な職域接種に協力していく。

一日も早い接種に向け、観光産業として全面的に協力するものである。

2. 諸外国と連携できる「ワクチンパスポート」の導入を

ワクチン接種記録等証明書或いはその電子証明書（ワクチンパスポート）導入がグローバルスタンダードになると見込まれるなか、同制度の導入は経済界からも要望されているところであり、政府におかれても、様々な角度から検討されていると承知している。ワクチン接種の進展により、ビジネス、学術研究などの分野から国際的な交流が回復すると考えられるが、コロナ前には大きな経済効果をもたらしてきたインバウンドなどの観光分野においてもワクチンパスポートは必須である。デジタル化等企業や訪日客等利用者の利便性についても十分に配慮した仕組みとなるよう引き続き働きかけていく。

ワクチン接種先進国では、ワクチン接種者を中心とした国境を越えた移動が解禁されている例もあることから、国際的に後れを取る事の無いよう検討の加速化を望むものである。

3. ワクチン接種の進展に伴った国内経済活動を

ワクチン接種が進んでいる諸外国では、感染防止効果がみられ国境を越えた移動も解禁されるなど社会経済活動が再開されつつある。我が国においてもワクチン接種者の拡大によって感染状況が改善に向かい、人々の交流拡大を通じて社会経済活動が順次回復するものと予想される。特に地域経済にとっては、観光交流拡大による経済活性化が期待される。

このため、観光関係者は感染拡大防止には従来以上に徹底して取り組んでいかねばならない。観光産業においては、ガイドラインの確実な遵守に加え、ワクチンの職域接種やスクリーニング検査を活用して安心して受入れできる環境を整えていく。また、ワクチン接種証明等を有効活用した旅行や出発前の検査付き旅行などの新たな取組を進めることで今後の交流拡大につなげていく。

一方で、様々な事由によりワクチンを受けていない方への差別や偏見につながらないように配慮しつつ、PCR検査及び抗原検査をより有効に活用するなど、観光関係者一丸となって地域住民と旅行者双方の安心感の醸成に努めるものである。

感染防止こそが日常生活を取り戻すための決め手です。感染状況は予断を許さないので、夏季の帰省、教育旅行等にあたっては、ワクチンの接種、事前のPCR及び抗原検査の利用、十分な健康管理のほか、「新しい旅のエチケット」をお守りいただくことを改めてお願いします。

令和3年6月17日

公益社団法人日本観光振興協会
会 長 山 西 健 一 郎